

ギャラリー×ホール コラボデイ 2021 コンサート

日時 ①令和3年5月1日(土) 午後2時開演
②令和3年5月3日(月・祝) 午後1時開演
会場 宇都宮美術館講義室(宇都宮市長岡町1077)
入場料 無料 ※事前申し込み制
定員 各日50名・全席自由
出演者

①5月1日 川久保博史氏(第2回受賞者・声楽家)

—主な演目—

G. プッチーニ:オペラ「蝶々夫人」ある晴れた日に

武満徹:小さな空

A. ララ:グラナダ



ソプラノ:
中島寿美枝

ピアノ:
小川英子



②5月3日 吉澤延隆氏(第10回受賞者・箏奏者)
名倉明子氏(第4回受賞者・作曲家)



—主な演目—

—叢芒(ひとむらすすき)

答えのない花 ~十七絃箏のために~

さくらはじめてひらく

※この日のために用意された新曲

すべて 名倉明子氏作曲

《お二人によるトークセッション》

申込方法

- ・電話 宇都宮市文化課【Tel 028-632-2767】
- ・市ホームページからお申し込みフォームに入力



<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kurashi/rekishi/1012028/1025461.html>

【申し込みにあたってのお願い】

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、開催を中止とさせていただく場合があります。その際は、申込時の連絡先にご連絡いたします。
- ・1都3県(東京都, 神奈川県, 埼玉県, 千葉県)及びまん延防止等重点措置区域の適用を受けた都道府県からのご来場は自粛いただけますよう、お願いいたします。
- ・参加者は当日事前に検温の上ご来場ください。美術館入口でも検温いたします。
- ・当日、体調が優れない場合はご来場をお控えください。
- ・参加者は、マスクの着用及び手指消毒にご協力をお願いします。

問い合わせ先 宇都宮市教育委員会文化課 電話 028-632-2767
主催: 宇都宮市, 宇都宮市教育委員会 協力: 公財) うつのみや文化創造財団

～宇都宮エスペール賞について～

平成13年に創設された宇都宮エスペール賞は、本市にゆかりのある芸術家のうち、芸術の創造活動が特に顕著で今後の活躍が期待できる方1名に対し送るものです。

賞の授与に伴い演奏会を開催するなど、受賞者を支援・育成することで、本市の芸術文化の振興を図ることを目的としています。

この「エスペール」という言葉は、フランス語の「J'espere”(ジ エスぺール)～私は期待する～に由来し、芸術家の今後の展開を応援しようという思いが込められています。

演者紹介

5月1日（土）午後2時～

＝川久保博史＝ 声楽：テノール

宇都宮市出身。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院修士課程修了。名テノールC・ベルゴンツィに心酔し、氏の主宰するヴェルディ・アカデミーに学び、ディプロマを受ける。ロータリー財団2550地区奨学生として渡伊。後に宇都宮エスペール賞を受賞し育成金を得て、また文化庁在外派遣特別派遣研究員として、北イタリア各地でイタリアオペラ作品の研鑽を重ねる。栃木県民オペラ主催オペラ「那須与一(初演)」で表題役デビュー後、「泣いた赤鬼(日生劇場版)」赤鬼役、「日光(初演)」大島健二など邦人作品をはじめ、「リゴレット」公爵、「運命の力」アルヴァーロ、「アイダ」ラダメスなどで主演。近年では新作日本歌曲の初演、昨年からは東京都「アートにエールを」、板橋区「いたばしアーティスト応援キャンペーン」に採択され、動画制作やライブ配信など新分野での活動も盛んに行う。第15回日本声楽コンクール優勝、東京都知事賞受賞。第35回イタリア声楽コンクール、テノール特賞受賞。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。日本歌曲振興波の会理事。

5月3日（月・祝日）午後1時～

＝吉澤延隆＝ 邦楽：箏

1982年 栃木県宇都宮市生まれ。7歳より、和久文子のもとで箏を始める。

2006年 平成18年度文化庁新進芸術家国内研修制度研修員として、箏、十七絃箏を菊地梯子、沢井一恵、福永千恵子、地歌三絃を芦垣美穂、アナリーゼを作曲家・嶋津武仁のもとで学ぶ。

07年 東海大学大学院芸術学研究科音響芸術専攻修了。

08年 第15回賢順記念全国箏曲コンクールにおいて第1位・賢順賞を受賞。

09年 宇都宮市より「うつのみや市民賞」を受賞。

11年 活躍が期待される芸術家に贈られる第10回「宇都宮エスペール賞」を宇都宮市より受賞。

16年 栃木県「とちぎ未来大使」に就任。

現在、東海大学教養学部芸術学科非常勤講師。東京文化会館ワークショップ・リーダー。

公式ウェブサイト <http://www.nobutaka-yoshizawa.com>

Twitter @NobutakaYoszawa

＝名倉明子＝ 作曲家

栃木県宇都宮市生まれ。栃木県立宇都宮女子高等学校を経て東京芸術大学音楽学部作曲科卒業、同大学大学院音楽研究科作曲専攻修了。作曲を浦田健次郎、丸田昭三、山田泉、松村禎三の各氏に師事。第17回現音作曲新人賞、第70回日本音楽コンクール作曲部門第1位、安田賞、第4回宇都宮エスペール賞、第2回牧野由多可賞作曲コンクール佳作、うつのみや市民賞、栃木県産業協会芸術文化貢献賞、板橋区民文化優秀賞を受賞。主要作品に《答えのない花～十七絃箏のために～》(吉澤延隆氏委嘱)、《モザイクの鳥》(尺八、十三絃箏×2、十七絃箏、三味線・公益財団法人うつのみや文化創造財団委嘱)、《書屋の蝶》(三味線ソロ・本條秀慈郎氏委嘱)、《蓮のある風景》(弦楽四重奏)、《Iridescent Reflection for string orchestra》、《よだかの星－宮沢賢治「よだかの星」によせて－(混声四部合唱版)》(詩：北村すみ)など。現在、山形大学地域教育文化学部准教授。特定非営利活動法人日本現代音楽協会、アプサラス、OTOの会各会員。

宇都宮エスペール賞受賞者による発表機会と、市民がより質の高い芸術文化に触れる機会を創出するために、現在、宇都宮美術館で開催している「第13回宇都宮エスペール賞受賞者伊藤遠平展」に合わせ、ホール部門受賞者の演奏を鑑賞する機会を設けました。

ギャラリー部門とホール部門のコラボレーションにより、より深く、広く、心地よく文化に触れていただき、新緑の森での優雅な午後のひとときをお過ごしください。